

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 1 理念・目的

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明	評価		発展計画		
	C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画	
(1) 付属機関等の理念・目的は適切に設定されているか						
a ◎高等教育機関として大学が追及すべき目的（建学の精神、教育理念、使命）を踏まえて、当該付属機関・委員会の理念・目的を設定していること。 【約500字】	本学の教職課程は、戦後改革の柱の一つである「開放制」教員養成システムとして創設された。「開放制」教員養成システムとは、師範学校を中心とする戦前の「閉鎖制」教員養成システムに代わるものであり、広い教養と深い学問的な素養を持つとともに、型にはまらず豊かな人間性と個性を持った教師を、大学教育を通じて養成するものであり、「開放制教師養成の原点に立ち、豊かな個性と力量をもった教師を養成すること」を目標としている。 社会教育主事は、社会教育法により「社会教育を行なう者に専門的技術的助言と指導を与える」教育の専門職と規定され、都道府県及び市町村の教育委員会に配属される。社会教育主事の養成については文部科学省令「社会教育主事講習等規程」に科目と単位が定められており、本学では同省令に基づいて社会教育主事任用資格のためのカリキュラムが組まれている。近年では、こうした社会教育主事の行政職としての役割に加え、学習支援者としての力量が注目されており、本学も職員養成の課題として取り組む。 学芸員とは、博物館の専門職員として博物館における調査研究・収集保存、展示教育の専門的事項に当たる者であるが、近年では、これらに加えて博物館の事業運営に関する経営的能力も求められている。学芸員養成課程は、学部等で学んだ専門を生かし、上記の仕事に従事する能力・技術と資質を持った学生を育てることが目標である。 学芸員資格取得を目指す学生が、博物館の社会的意義やその必要性等を学んで、博物館の知識理解を深めるのみならず、専門的職員たる学芸員としての仕事に必要な基本的な知識や技術を体得できるようにすることを目指している。博物館理解者・博物館支司書課程は、図書館法で定められた、司書を養成する課程であり、その目的は、司書として必要な知識・技能を獲得した人材の養成である。司書課程による司書養成の特徴として、学部等で学んだ専門知識を生かし、図書館で司書として、資料を選択・収集、組織、蓄積し、一般市民の利用者の情報資料への要求に応えることに従事する専門知識とスキルを持った人材を養成することにある。 司書教諭課程は、学校図書館法で定められた、司書教諭を養成する課程であり、その目的は、学校図書館の専門的職務を掌る司書教諭として必要な知識・技能を獲得した人材の養成である。司書教諭課程の特徴は、各専門教科で学んだ専門知識を生かし、学校図書館で司書教諭として、図書館資料の選択・収集、組織化及び生徒または教員の利用に供することに従事するための専門知識とスキルを持った教師を育成することにある。					

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 1 理念・目的

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明	評価		発展計画		
	C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画	
(2) 付属機関等の理念・目的が、教職員及び学生に周知され社会に公表しているか						
a ◎公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生、受験生を含む社会一般に対して、当該大学・学部・研究科の理念・目的を周知・公表していること 【約150字】	「資格課程案内」において、資格課程の教育理念・目的を発信している。また、「資格課程リーフレット」を作成し、各課程の特色、免許・資格取得の意義、進路に関する情報を提供している。					
(3) 付属機関等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか						
a ●理念・目的の適切性を検証するに当たり、責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。 【約300字】	各課程の教育内容に関わる根拠法の改正等、教育系専門職養成を取り巻く社会的環境に留意しながら、五課程会議で、資格課程の教育理念・目的について常時検討を加えている。定期的に行われる資格課程委員会の毎年初回において、委員会規程を配布し、委員会の理念・目的を確認している。					

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 2 教育研究組織

<b>点検・評価項目</b> ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	<b>現状の説明</b>	<b>評価</b>		<b>発展計画</b>		
	C列の点検・評価項目について、 必ず記述してください	効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」 に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画	
		当年度・次年度対応 F列にあれば記述	中長期的対応 F列にあれば記述			
<b>(1) 付属機関等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか</b>						
a ①教育研究組織の設置状況は理念・目的に照らし、適切であるか。学術の進展や社会の要請と教育との適合性について配慮したものであるか。  ●教育研究組織は、当該大学の理念・目的を実現するためにふさわしいものであるか。 【約300字】	資格課程には、資格課程委員会、五課程会議、主任会議、研究室会議、教職課程専門部会、教育実習指導教員会議がある。 資格課程を構成する各課程の課題と資格課程全体の共通課題を検討し、意思決定を行うという目的を遂行するうえで、上記の研究室会議をベースに資格課程委員会の設置は妥当である。 資格取得に関して、学位取得とは相対的に区別される専門性の明確化とその質保証を求める社会からの要請との関係で、資格課程としての諸課題の検討と意思決定を行う資格課程委員会の存在は、適合性がある。					

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 3 教員・教員組織

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明	評価		発展計画		
	C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画	
C列の点検・評価項目について、必ず記述してください						
(1) 付属機関として求める教員像および教員組織の編制方針を明確に定めているか						
a ●【教員像と教員組織の編制方針】 専門分野に関する能力、教育に対する姿勢等、大学として求められる教員像を明らかにしたうえで、当該付属機関の理念・目的を実現するために、教員組織の編制方針を定めているか。また、その方針を教職員で共有しているか。 【約400字】	本課程の人材育成目標を達成するための教員像は、資格課程委員会「教育・研究に関する長期・中期計画書」の3「教員・教員組織」として示している。					
(2) 付属機関等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか						
教員の編制方針に沿った教員組織の整備						
a ◎方針と教員組織の編制実態は整合性がとれているか。 【600～800字】	各課程において、根拠法令が求めているカリキュラムと担当教員数を充足した教員組織を整備している。 教職課程 教職課程認定基準4-3, 同4-4により、各教科の必要専任教員数を満たしている。 社会教育主事課程 社会教育主事養成課程の設置に関する届出に必要な専任教員2名を満たしている。2016年度2名 学芸員養成課程 博物館に関する科目について科目全体の内容、開講状況等を把握する総括的役割を担う専任教員（原則1名以上配置）を満たしている。2016年度2名 司書課程・司書教諭課程 図書館に関する科目について科目全体の内容、開講状況等を把握する総括的役割を担う専任教員（原則2名以上配置）を満たしている(図3-1)。2016年度3名					
(3) 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか						
a ●【規定に沿った教員人事の実施】 教員の募集・採用・昇格について、基準、手続を明文化し、その適切性・透明性を担保するよう、取り組んでいるか。 【400字】	本課程には教員は所属せず、文学部に所属することとなっている。募集・任免・昇格については、文学部の定める教員の任用及び昇格に関する基準と手続に従って、研究業績、教育実績、経歴年数等を審査し、実施されている。					

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 3 教員・教員組織

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明	評価		発展計画	
	C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 当年度・次年度対応 F列にあれば記述 中長期的対応 F列にあれば記述
<b>(4) 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか</b>					
<b>教員の資質向上のための研修・諸活動（FD）の実施状況とその有効性</b>					
b ●教育研究、その他の諸活動（※）に関する教員の資質向上を図るための研修等を恒常的かつ適切に行っているか。 （※）社会貢献、管理業務などを含む『教員』の資質向上のための活動。『授業』の改善を意図した取組みについては、「基準4」（3）教育方法で評価します。 【600～800字】	① 教員の教育研究活動等の評価の実施 「教職課程年報」において研究論文を掲載する。各教員がそれぞれ所属する学会誌等に掲載した論文の抜き刷りや著書を相互に配付し、研究業績を認知しあう。 「社会教育主事課程年報」において研究論文を掲載するとともに、社会教育実習に関する論文を掲載することで実習先や他大学に教育実践を公開し、意見を求めている。 「学芸員養成課程年報」及び「学芸員養成課程紀要」において、授業実践の紹介や研究論文を掲載し、広く意見を求めている。 教員の教育活動の実績を、「司書・司書教諭課程年報」に記事としての発表を推奨している。教員の研究活動の成果については、「明治大学図書館情報学研究会紀要」に論文として掲載し、明治大学の学術成果リポジトリへの登録を通して、広く図書館界に研究成果を公開している。 ② FDの実施状況と有効性 授業改善アンケートなどをもとに、授業改善に関する協議を随時もっている。 教員の研究発表、執筆論文等の業績を通して、当該教員の業績評価を的確に行っている。また、全学的な授業アンケートに参加し、授業内容の改善を図っている。 教職課程は「教職課程年報」、「明治大学教育会紀要」などへ論文等の掲載を促している。全学的な授業アンケートに参加する。社会教育主事課程は、全国社会教育職員養成研究連絡協議会（社養協）で他大学の教員とカリキュラム等について研究交流している。また、本課程専任教員が、2014年度から福井大学履修証明プログラムに参加し、学習支援者の力量形成のためのカリキュラム策定に向けた研修を受講している。	教職課程 教員の研究成果として『教職課程年報』に論文を掲載し、研究の成果を発信できたとともに、介護等体験のアンケート結果についても掲載した。 学芸員養成課程 専任教員のみならず、兼任教員や課程修了者も積極的に研究成果を掲載しているとともに、「博物館実習の記録」や受講者による夏期課題「展示の企画と制作」などを掲載して学習の成果を外部発信している。		教職課程 兼任講師による投稿を含め、教職課程の研究成果をより多く発信するため、「教職課程年報」の充実を図る。 学芸員養成課程 従来、外部研究機関と課程修了者を対象に配布してきたが、教材としての有効性も考えられることから、課程受講者が実習年次になった際に配布することも考慮する。	

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 4 教育内容・方法・成果 1. 教育目標, 学位授与方針, 教育の編成・実施方針

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明  C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	評価		発展計画		
		効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 当年度・次年度対応 F列にあれば記述 中長期的対応 F列にあれば記述	
<b>(1) 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。</b>						
a ◎理念・目的を踏まえ、課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件（卒業要件・修了要件）等を明確にした学位授与方針を設定していること。 【約800字】	根拠法令に基づくカリキュラムで求めている教育目標、備えるべき知識・スキルが獲得されていることを厳正に評価し、免許・資格の取得に必要な単位数を取得していることを審査のうえ、各課程の修了認定を進める。 教職課程では、関係法令の規程に従いながら、社会状況の変化や子どもと学校現場の変化を分析し、豊かな個性と力量をもった教員が育つ教育課程を編成・実施する。					
<b>(2) 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。</b>						
a ◎学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法などに関する基本的な考え方をまとめた教育課程の編成・実施方針を設定していること。 【約600字】	根拠法令に基づき、各課程においてカリキュラムを編成し、科目区分・必修・選択、単位数も含めて『資格課程案内』（10～208頁）に明示している。					
<b>(3) 教育目標, 学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針が, 大学構成員（教職員及び学生等）に周知され, 社会に公表されているか</b>						
a ◎公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を周知・公表していること。 【約150字】	① 周知方法と有効性 学位の授与ではなく、免許または資格取得要件を、「資格課程案内」を配布するなど、広く周知を図っている。また、資格課程のホームページを通して、周知の徹底を図っている。  ② 社会への公表方法 「大学案内」「資格課程案内」「資格課程シラバス」を資格課程ホームページを通して公表している。					

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 4 教育内容・方法・成果 1. 教育目標, 学位授与方針, 教育の編成・実施方針

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明 C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	評価		発展計画		
		効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 当年度・次年度対応 F列にあれば記述	中長期的対応 F列にあれば記述
<b>(4) 教育目標, 学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか</b>						
a ●教育目標, 学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性を検証するにあたり、責任主体・組織、権限、手続を明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させ、改善につなげているか。 【約400字】	<p>教職課程は、研究室会議において検証を行い、改善を行っている。教育課程の編成・実施の適切性は、その根拠となる教育活動の成果と比較検証されなければならない。さらにその報告が関係の研究機関や実践現場に届けられ、吟味される必要がある。</p> <p>2016年度は再課程認定のためのワーキンググループを立ち上げ、情報の収集や対応について検討を行った。また、このワーキンググループは、本学における教員養成教育の在り方について学内で独自に検証する役割を担い、内部質保証システムとして機能している。</p> <p>社会教育主事課程は、随時開催する課程室会議において、定期的に検証を行い、改善を図っている。</p> <p>学芸員養成課程は、随時開催する課程室会議において、定期的に検証を行い、改善を図っている。</p> <p>司書課程・司書教諭課程は、随時開催する課程室会議において、定期的に検証を行い、改善を図っている。</p>	<p>教職課程は、定期的な検証の結果、教育課程の適切な編成・実施が行われている。また、ワーキンググループの活動をもとに教職課程専門部会を開催し、各学部で再課程認定の情報が周知された。</p> <p>社会教育主事課程は、課程年報に学生の実習報告を掲載することは、実践の現場において学生の認識を確かめる意味をもつ。また教員は学会等においてカリキュラムの検討を行い報告し、可能な限り学外の意見を求めて、カリキュラムの改善につなげている。</p>	<p>司書課程は、知識基盤社会の高度化にとれない、図書館専門職には、より高度な図書館情報学に関する専門知識を有していることが求められている。図書館情報学を専門とする専攻等をもたない現行の課程による教育システムは、現代社会で求められている高度な図書館情報専門職養成を難しくしている。</p>	<p>教職課程は、100分授業の実施による履修上の問題点を早期に発見・対応することが求められる。</p> <p>また、再課程認定に向けての準備を行う。</p>		<p>司書課程は、既存の大学院文学研究科臨床人間学専攻臨床人間学コースにおいて、学術研究に基づく実践的スキルを有する図書館専門職の養成を検討していく。</p>
			<p>司書教諭課程は、学校教員には、知識基盤社会を生きる力と問題解決能力を備えた子どもを社会に送り出すことという使命が課されている。そのためには、生きる力と問題解決能力に必須となる図書館活用能力を育成できる教員養成が必要である。しかしながら、図書館情報学、学校図書館学を専門とする専攻等をもたない現行の課程による教育システムは、現代社会の学校教育で求められている教育力を備えた教員養成は難しくしている。</p>			<p>司書教諭課程は、既存の大学院文学研究科臨床人間学専攻臨床人間学コースにおいて、知識基盤社会を生きる力と問題解決能力に必須となる図書館活用能力を育成できる専門職の養成を検討していく。</p>

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 4 教育内容・方法・成果 2. 教育課程・教育内容

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明 C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	評価		発展計画		
		効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 当年度・次年度対応 F列にあれば記述	中長期的対応 F列にあれば記述
<b>(1) 教育課程の編成・実施方針に基づき授業科目を開設し体系的に編成しているか</b>						
<b>必要な授業科目の開設状況</b>						
a ◎CPに基づき、必要な授業科目を開設していること。 【600字～800字程度】	各課程では、根拠法規程に基づく科目を、体系立てて配置している。 教職課程は、教師として必要な専門的力量を自覚的に鍛えることを目標とする。 社会教育主事課程は、「社会教育主事講習等規程」に基づき、必修：生涯学習概論・社会教育計画、選択必修：社会教育課題研究・社会教育実習・社会教育演習、選択：社会教育特講Ⅰ～Ⅲの科目を配置している。 学芸員養成課程は、学芸員として基本的な知識・技術を修得することが可能なカリキュラムによる教育を目標とする。 司書課程は、司書として、地域社会の人びとの課題解決に関する相談を受け、情報資料の提供を通して課題解決を支援できる専門的知識と技能を備えた人材の養成が可能なカリキュラムによる教育を目標とする。 司書教諭課程は、司書教諭として、生徒の主体的な学習を支援し、また読書能力の育成に寄与できる専門的知識と技能を備えた人材養成が可能なカリキュラムによる教育を目標とする。	教職課程では、規程に基づいて体系的な編成がなされている。		教職課程では、規程の改変に伴う設置科目の変更を見据えた準備を行う。		
<b>順次性のある授業科目の体系的配置（履修体系図、科目相関図、4年間の履修モデルなど）</b>						
c ●教育課程の編成実施方針に基づいた教育課程や教育内容の適切性を明確に示しているか。（学生の順次的・体系的な履修への配慮） 【約400字】	教職課程は、「教育職員免許法」の規程に基づき、教育に関わる知見の習得と実践力の育成を目指し、そのための教育内容や順次性を学生に明示している。また、学生が自身の履修過程を確認し得る「教職履修カルテ」の運用を行なっている。 社会教育主事課程は、履修開始年次の指定により科目の順次性を保持している。 司書課程・司書教諭課程では、法令に基づき、司書・司書教諭の養成にあたり、教育内容や順序性を学生に明示している。また、2013年度より、メディア授業の開設時間を特定の曜日・時限に配置する方法を取りやめて集中講義形式とし、最終試験も6・7時限に集中させることで学生の履修環境を改善している。さらに、対面授業では、必修科目で学習した内容を、より深く学べるように選択必修科目として、たとえば、司書課程では「現代図書館事情論」「図書館総合演習」などを開講し、体系的なカリキュラムを構築している。	教職課程では、ガイダンスや「履修カルテ」の活用により教育課程の体系的性が学生にも自覚されている。 司書課程・司書教諭課程では、履修科目に配当年次を設定し、順序性を明示することにより、知識や技術の体系的な習得が可能となっている。 司書課程では、特色ある授業科目の一つとして、「図書館総合演習」を開講し、ゼミナール形式により、必須科目で学習した内容をさらに深化・発展させた授業を展開できた。		教職課程では、「履修カルテ」の記載や活用方法を改良し、科目の相関性についての意識を向上する。 司書課程では、学生の学習理解の促進を図るため、カリキュラム、科目配当年次を検討する。さらに、特色ある授業科目として位置づけられる「図書館総合演習」「現代図書館事情論」の授業内容を、一層充実させる。 司書教諭科目では、学習機会の拡大を図るため、カリキュラム、履修開始年次を含めた科目配当年次を検討する。		
<b>教育課程の適切性の検証プロセスの明確化とその有効性</b>						
d ●教育課程の適切性を検証するにあたり、責任主体・組織、権限、手続を明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させ、改善につながっているか	「資格課程科目」の検証プロセスについては、「資格課程委員会」が責任主体である。					

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 4 教育内容・方法・成果 2. 教育課程・教育内容

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明	評価		発展計画		
	C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 当年度・次年度対応 F列にあれば記述      中長期的対応 F列にあれば記述	
<b>(2) 教育課程の編成・実施方針に基づき各課程に相応しい教育を提供しているか</b>						
<b>教育目標や教育課程の編成・実施方針に沿った教育内容（何を教えているのか）</b>						
a ◎何を教えているのか。どのように教育目標の実現を図っているのか。 【400字程度】	「資格課程科目」の教育内容は、各課程において免許・資格に関わる根拠法令に基づいて授業科目を開設している。 教職課程では、法令に基づく諸科目を本学として4つの領域に体系化している。2013年度から教職への意識向上を図る「教職実践演習」を開講したことで、「模擬授業室」を活用した学生相互のグループ学習が活発に行われている。 社会教育主事課程では、社会教育／生涯学習等の現場で人々が学びあいコミュニティの課題を解決しようとする営み、活動・学習を支援する職員の取り組み、それらを支える法律・制度・施設について、「社会教育実習」「社会教育演習」などにおける学生の実践経験と理論的考察を往還する中で学んでいく。 学芸員養成課程では、「学芸員養成課程実習室」を大学博物館フロアに設置し、大学博物館学芸員の協力も得て大学博物館各部門（考古・刑事・商品）と大学の地域連携協定先の一つである長野県長和町の「町立黒耀石体験ミュージアム」で「博物館実習」を実施計画していたが、参加学生がいなくて2016年度は実施できなかった。 司書課程では、選択必修科目として「図書館実習」を設置し、図書館の現場を知り、実務を経験する学習機会を提供している。さらに、他大学においては選択科目として開講している図書館史に関する科目を必修科目「図書館文化論」として開講し、図書館や情報メディアに関する歴史的理解を図っている。 司書教諭課程では、「情報メディアの活用」において、図書館演習の要素を組み入れ、電子メディアと印刷メディアを活用した技能の育成を図っている。	教職課程では、模擬授業室を活用した授業をきっかけに、学生たちによる勉強会が組織された。	学芸員養成課程では、長和町に代わる校外実習先の確保が必要と考えられる。	教職課程では、中野キャンパス、生田キャンパスにも模擬授業室を開設する。	学芸員養成課程では、数か所の校外実習候補地と連絡を取り合っており、今後交渉を行う予定である。	

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 4 教育内容・方法・成果 3. 教育方法

点検・評価項目	現状の説明	評価		発展計画		
◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	C列の点検・評価項目について、 必ず記述してください	効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画		
				「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 当年度・次年度対応 F列にあれば記述	中長期的対応 F列にあれば記述
<b>(1) 教育方法及び学習方法は適切か</b>						
<b>教育目標や教育課程の編成・実施方針と授業形態（講義科目、演習科目、実験実習科目、校外学習科目等）との整合性</b>						
a ◎当該付属機関の教育目標を達成するために必要となる授業の形態を明らかにしていること。 【約800字】	教職課程では、多くの授業でグループディスカッションやプレゼンテーションを取り入れ、学生の積極的な学習を促している。 社会教育主事課程では、「課程案内」においてカリキュラムの全体像と「社会教育実習」「社会教育演習」の二つの実習系科目について説明し、「シラバス」において各科目の授業の内容・方法を示している。 学芸員養成課程では、博物館の現場を重視した授業を展開している。これに沿って、学生の基礎専門に配慮した学芸員養成を進めるよう博物館資料論及び博物館実習を工夫している。博物館実習では、学生の基礎専門に対応した実習科目となるようカリキュラムを工夫し、大学博物館または学外での「博物館実務実習」と組み合わせた教育を行っている。 司書課程・司書教諭課程では、対面授業に加え、eラーニングを取り入れており、教育内容に応じて多様な学習方法を学生が選択できるようにしている。	教職課程では、模擬授業室は時期によって空きがなくなるほど活用され、学生による模擬授業実施が活発化している。 司書課程では、チューターやラーニングコンシェルジュの導入によって、メディア授業における個別学習のもつ問題点が克服され、学生の成績向上に結び付いた。	教職課程では、講義科目において、受講生数が180名を超える大規模授業が存在している。生田キャンパス・中野キャンパスに模擬授業室がなく、学生がグループ活動を行うスペースが不足している。	教職課程では、生田・中野キャンパスに模擬授業室を開設する。 司書課程では、引き続き、チューターやラーニングコンシェルジュによる学習支援を行い、メディア授業における修了率と履修満足度の向上に努める。	教職課程では、コマ数の適正化と教員の増員。生田分室を拡張し、学生の共同学習の機能を強化する。	教職課程では、生田キャンパス・中野キャンパスにおいて模擬授業室を設置する。
<b>学生の主体的参加を促す授業方法（学習支援、TAの採用、授業方法の工夫等）</b>						
e ●学生の主体的な学びを促す教育（授業及び授業時間外の学習）を行っているか。 【なし～800字】	教職課程では、教育実習前後の模擬授業で「模擬授業室」を活用している。模擬授業室は時期によって空きがなくなるほど活用されている。しかし、生田キャンパス・中野キャンパスに模擬授業室がなく、学生がグループ活動を行うスペースが不足している。 社会教育主事課程では、講義科目において関連図書のレポートや施設見学、学生が発信する新聞の作成などのグループ活動に取り組む授業を展開している。さらに、学習支援者として主体的な学びを支援するためには自ら主体的な学習を経験することが必要であることから、1年間のプロジェクトを学生自身が企画運営する「アクティブ・ラーニング」として「登戸探求プロジェクト」を行っている。 学芸員養成課程では、実習室に嘱託職員及びTAを置き、実習時以外でも課題調査などに活用できるようにしている。博物館の現場を重視した授業を展開し、実習室で学生個々の専門に応じた実習科目の他、学外での「博物館実習」による教育を行っている。 司書課程・司書教諭課程では、対面講義に加えて、メディア授業を導入し、受講機会を拡大している。メディア授業では、チューターやラーニングコンシェルジュという学習支援スタッフを置き、受講生からの質問等に即時に回答するなど、メディア授業における個別学習のもつ問題点が克服されている。演習科目は、履修上限を25名に設定し、小テストやレポート、授業での討議参加など主体的な授業への取り組みを促した結果、受講生は実践的なスキルの修得が可能となり、所属学科や専攻で課されるレポートや卒業論文作成時に求められる情報リテラシーの習得へと結び付いている。	教職課程では、「模擬授業室」活用の働きかけにより、学生たちの積極的な取り組みが見られる。 学芸員養成課程では、嘱託職員及びTAが履修者の学習に関する相談に対応しており、効果も現れている。		教職課程では、生田・中野キャンパスに模擬授業室を開設する。 学芸員養成課程では、教員も実習室で履修者の学習相談等に対応できるよう配慮する。		

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 4 教育内容・方法・成果 3. 教育方法

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明  C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	評価		発展計画	
		効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 当年度・次年度対応 F列にあれば記述 中長期的対応 F列にあれば記述
<b>(2) シラバスに基づいて授業が展開されているか</b>					
b ●シラバスと授業方法・内容は整合しているか（整合性、シラバスの到達目標の達成度の調査、学習実態の把握）。 【約400字】	各回の授業内容を詳細に記述し、関連文献の明示など、受講生の主体的な学習に資する情報提供も行なっている。 また、授業の初回では、シラバスの全体を説明し、授業がシラバスに従って展開されることを説明している。				
<b>(3) 成績評価と単位認定は適切に行われているか</b>					
a ◎授業科目の内容、形態等を考慮し、単位制度の趣旨に沿って単位を設定していること。（成績基準の明示、授業外に必要な学習内容の明示、ミニマム基準の設定等） 【約400字】	教職課程では、すべての設置科目ではその成績基準をシラバスに明示するとともに、授業内においても確認を行なっている。また、授業外に必要な学習内容や手続き等についてもシラバスや掲示板、ガイダンスなどによって周知している。	教職課程では、成績評価と単位認定が適切に行われている。		教職課程では、引き続き評価基準をシラバスに明記する。	
<b>(4) 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善（授業に関わるFD活動）に結びつけているか</b>					
a ◎教育内容・方法等の改善を図ることを目的とした、組織的な研修・研究の機会を設けていること。 【約800字】	教職課程では、教育成果の検証について「明治大学教職課程年報」等に授業内容を含め教職課程の教育活動をまとめている。また、毎年度始に各課程で教員懇談会を開催し、専任・兼任の教員が授業運営上あるいは学生対応上の課題について話し合っている。また、各科目の担当者が授業の紹介を行なうとともに、教育方法改善に向けた意見交換を行っている。 社会教育主事課程では、社養協（社会教育主事養成課程を持つ大学の連絡会）と、日本社会教育学会の職員養成研究によって、大学間で相互に教育内容・方法の改善に向けた研究を行っており、本学教員はこれに参加している。 司書課程・司書教諭課程では、専任教員は「課程室会議」において、兼任講師は毎年4月に開催される懇談会において授業内容の検証と改善を依頼している。	教職課程では、課程別懇談会にて、科目担当教員間の意見交換、情報共有がなされた。		教職課程では、課程別懇談会を継続して開催する。	

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 4 教育内容・方法・成果      3. 教育方法

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明  C列の点検・評価項目について、 必ず記述してください	評価		発展計画	
		効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	
				当年度・次年度対応 F列にあれば記述	中長期的対応 F列にあれば記述
b ●授業アンケートを活用して教育課程や教育内容・方法を改善しているか。 【約400字】	教職課程では、各科目の担当者は個々に授業評価アンケートの実施・省察を行ない、改善を図っている。 社会教育主事課程では、ラウンドテーブルを経て作成される社会教育実習の「実習報告」と、登戸探求プロジェクトの「活動の記録」では、教員の発言と学生の認識のかかわりが記録されている。年間を通じた学生の認識の文脈において、教育内容・方法が吟味される。	教職課程では、授業評価アンケートの結果を踏まえた授業の改善が図られた。		教職課程では、兼任教員に対してアンケート実施についての理解を求める。	

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 4 教育内容・方法・成果 4. 成果

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明  C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	評価		発展計画	
		効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 当年度・次年度対応 F列にあれば記述 中長期的対応 F列にあれば記述
<b>(1) 教育目標に沿った成果が上がっているか</b>					
a ●課程修了時における学生の学習成果を測定するための評価指標を開発し、適切に成果を測るよう努めているか。 【400字程度】	専門職としての人材育成の観点から、教育・学習の成果の記録メディアでもある各課程の年報に掲載可能なレベルの学習成果を、受講生があげられるように、教育内容の充実に努める。 また、当課程の受講生が教職をはじめとする専門職採用試験に合格できるだけの教育レベルを保証する。	司書課程では、採用数が非常に少ない正規の司書職採用試験に毎年合格者を輩出できている状況は、司書課程における教育効果が表れている。		司書課程では、毎年、定期的に公共図書館のみならず大学図書館員も輩出できるよう、「勉強会」などの充実に図る。	
b ●卒業生の進路実績と教育目標（人材像）の整合性があるか。  ●学習成果の「見える化」（アンケート、ポートフォリオ等）に留意しているか。 【約800字】	教職課程では、2016年度の教育職員免許状取得者は383名であった。そのうち、中学校、高等学校への教員就任者は83名であった。このうち専任採用者は28名であった。 社会教育主事課では、卒業時のアンケートから「社会教育実習」履修者の過半数が地方自治体に就職しており、着任後は学習支援にかかわる職場を希望していることから、社会教育主事の採用が極めて厳しい中で学生が公務員として学習支援職に関わろうとする傾向が示されている。 学習成果として実習系授業の学生の報告・記録があるが、「社会教育実習報告」は課程の履修を開始した学生に向けて「生涯学習概論」等の授業で教材としている。また「社会教育演習（登戸探求プロジェクト）」の「活動の記録」は次年度履修者が前年度までの活動を知り今年の活動を計画するために読みあうことから始めている。 学芸員養成課程では、修了者は63名である。 司書課程では、2016年度の司書課程修了学生は97名であり、このうち、当課程が把握している限りにおいて、司書職として1名輩出できたほか、司書教諭資格を有する教員1名を輩出することができた。	教職課程では、教員採用準備講座の開講や教育実習指導室の開室により採用に向けた支援が充実した。 社会教育主事課程では、学校以外の教育活動の経験が少なく、課程の履修を始めたばかりの学生にとって、先行世代の学生の実習・演習の報告は、自分の経験と近いものとして受け止められ、社会教育・学習支援への関心を形成する基盤となっている。		教職課程では、関連書籍の充実等により教育実習指導室の改善を図る。	
c ●学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）を実施しているか。 【約400字】	教職課程では、教育目標に沿った成果が上がっているかどうかを確認するため、在学中は「教職履修カルテ」の作成と運営を通して学生の自己評価を行っている。	教職課程では、定期的なカルテのチェックにより成果の確認を評価を行っている。		教職課程では、カルテの電子化について検討する。	

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 5 学生の受け入れ

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明	評価		発展計画		
	C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 当年度・次年度対応 F列にあれば記述 中長期的対応 F列にあれば記述	
<b>(1) 学生の受け入れ方針を明示しているか</b>						
<b>求める学生像の明示及び当該課程に入学するに当たり修得しておくべき知識等の内容・水準の明示及び社会への公表</b>						
a ◎理念・目的、教育目標を踏まえ、求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにした学生の受け入れ方針を定めていること。 ◎公的な刊行物、ホームページ等によって、学生の受け入れ方針を、受験生を含む社会一般に公表していること。 【約400字】	本学に開設されている5つの課程(教職課程・学芸員養成課程・社会教育主事課程・司書課程・司書教諭課程)の修了に必要な単位を在学中に修得できなかった者や、卒業後に新たに資格取得を希望する者を科目等履修生として受け入れ、資格取得の道を提供する。 教職課程は、科目等履修生の受け入れに際しては、本学出身であること、教師として教壇に立つ意思が明確であること、教職適性において著しい問題がないことを条件としている。なお、「科目等履修生募集要項」に受け入れ方針を明示している。履修者を本学出身者に限定することにより、適切かつ丁寧な履修指導を行うことができている。また、面接試験において教師として教壇に立つ意思及び教員適性における著しい問題の有無を確認することにより、その後の学習を効果的に行うことができる。 社会教育主事課程は、「資格課程案内」において取得する資格や実習系授業に力点を置いた特徴的なカリキュラムについて明示している。また、科目等履修生の制度により、ウェブサイトや「資格課程案内」上で学内外を問わず履修の門戸を広げていることを示している。 学芸員養成課程は、科目等履修生については学内外を問わず、広く門戸を開き、受け入れている。 司書課程・司書教諭課程では、求める学生像について、「資格課程案内」等の冊子や資格課程ホームページ等で明示している。また、当課程の受講にあたり習得しておくべき知識、あるいは教育系専門職として望ましい資質等について、『資格課程案内』などを通して説明をしている。大学を卒業していることを科目等履修生の出願条件とし、受け入れに際しては本学出身者に限定していない。	教職課程では、履修者を本学出身者に限定することにより、適切かつ丁寧な履修指導を行うことができている。また、面接試験において教師として教壇に立つ意思及び教員適性における著しい問題の有無を確認することにより、その後の学習を効果的に行うことができる。本学において一貫した教員養成教育を受けることにより、明治大学教職課程の理念を備えた教員を輩出することにつながっている。 司書課程では、毎年、定期的に公共図書館のみならず大学図書館員も輩出できるよう、「勉強会」などの充実を図る。	教職課程では、国レベルで教師教育の高度化が図られている現状を踏まえ、明治大学の教職課程として養成する教員像を明示する必要がある。また、障がいのある学生の受け入れの方針・サポート体制についての詳細を決定し、情報を共有する必要がある。	教職課程では、科目等履修生の面接試験において、今後もひきつづき面接時間や質問項目の適正化に留意する。また履修生の単位取得については教職履修カルテ等を参照しつつ、その進行に大きな問題がないか適宜確認を行っていく。 司書課程・司書教諭課程では、現在、開設しているメディア授業の存在を科目等履修生にも周知するとともに、社会人等が受講しやすい環境の整備を進める。	教職課程では、最近の文部科学省の施策の動向を見極め、また、学校現場で必要とされる教師としての資質を把握し、教職課程として養成する教員像について再検討し、科目等履修生募集要項に反映させる。また、障がいのある学生の受け入れについては、各学部での受け入れ方針を参考にしながら教職課程のガイドラインを作成する。	教職課程では、教職課程として次の世代を担う教員に求められる資質について検討するとともに、教師教育の高度化をめぐる議論の動向を注視し、制度化された場合の受け入れ方針を作成するための情報収集を行う。
<b>(2) 学生の受け入れ方針に基づき、適切に学生募集及び入学者選抜を行っているか</b>						
a ●学生の受け入れ方針と学生募集、入学者選抜の実施方法は整合性が取れているか。 (公正かつ適切に学生募集及び入学者選抜を行っているか、必要な規定、組織、責任体制等の整備しているか) 【約400字】	科目等履修生については、書類審査、面接を実施し、公正かつ適切に履修者の選抜を行っている。					

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 5 学生の受け入れ

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明  C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	評価		発展計画		
		効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画	
(3) 適切な定員を設定し、入学者を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか						
<b>収容定員に対する在籍学生数比率の適切性</b>						
a	◎学部・学科における過去5年の入学定員に対する入学者数比率の平均が1.00である。また、学部・学科における収容定員に対する在籍学生数比率が1.00である。 ◎学部・学科における編入学定員に対する編入学生数比率が1.00である（学士課程）。【約200字】	資格課程は、その性質上、収容定員を設けていない。				
<b>(4) 学生募集及び入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生選抜が実施されているか、定期的に検証を行っているか</b>						
a	●学生の受け入れの適切性を検証するに当たり、責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させ、改善につなげているか。【400字】	資格課程では、開放制の方針に則り、受講者の選抜を実施せず、資格取得を希望するすべての学生には受講を許可している。ただし、受講開始後、各課程においては厳密に学習成果を評価し、受講継続の可否を判定している。				

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 6 学生支援

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明	評価		発展計画	
	C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 当年度・次年度対応 F列にあれば記述 中長期的対応 F列にあれば記述
<b>(4) 学生の進路支援は適切に行われているか</b>					
a ◎学生の進路選択に関わるガイダンスを実施するほか、就職・キャリア形成支援教育の実施等、組織的・体系的な指導・助言に必要な体制を整備していること。 【約400字～800字】	<p>&lt;教職課程&gt;</p> <p>(1) 教員と職員の担当者をそれぞれ決め、求人情報を含む具体的な教員採用等の情報の交換と共有、学生への提供、教育委員会との対応等を行っている。また、求人情報を各キャンパスの教育実習指導室及び資格課程分室に掲示し、学生への情報提供に努めている。教員のオフィスアワー及び各キャンパスの教育実習指導室及び資格課程分室に配置されているTAが学生の進路に関する相談に対応している。急な求人に関しては、資格課程委員会委員への情報提供も行っている。</p> <p>(2) 教員採用選考試験について、教育委員会担当者を駿河台と生田に招いて、説明会を実施している（2016年度：川崎市、横浜市、相模原市、神奈川県、埼玉県、千葉県、東京都）。</p> <p>(3) 教員採用選考に関する大学推薦の情報を学生に周知するとともに、推薦者の学内選考を実施した。（2016年度：神奈川県）。</p>	(1) 左記(6)のデータを講師採用の求人が寄せられた際に適任者をピックアップするためなどに活用している。	(2) 教員採用選考説明会には多数の学生が参加している。また、教員採用試験準備講座にも多数の学生が受講し、教員採用模擬試験を受講している学生も多い。	(3) 明治大学教育会大会への参加により、学生の教職に関する理解が深まっている。	(1) 進路状況調査票の回収を遺漏なく進めるとともに、蓄積したデータベースの活用可能性をさらに高めていく。
	<p>(4) 「教員採用試験準備講座」では講座内容も教職教養、指導案作成、論作文、場面指導などを盛り込み、受講生のニーズに応える内容としている。</p> <p>(5) 駿河台教育実習指導室及び資格課程生田分室、同和泉分室、中野資格課程支援室では、学校ボランティアの関連資料を収集・整備し、学校ボランティアへの参加を促している。</p> <p>(6) 卒業生に進路状況調査票に記入させるとともに、教育委員会に採用実績を照会し、本学卒業生の教職関連の進路の把握に努めるとともに、卒業生に教員求人情報を提供している。</p> <p>(7) 「明治大学教育会」との連携を強化し、学生が現職教員と交流する場を設けている。また、「明治大学教育会」の大会を毎年開催し、校友教職関係者のキャリア形成支援の場としている。</p>	(1) 左記(6)のデータを講師採用の求人が寄せられた際に適任者をピックアップするためなどに活用している。	(2) 教員採用選考説明会には多数の学生が参加している。また、教員採用試験準備講座にも多数の学生が受講し、教員採用模擬試験を受講している学生も多い。	(3) 明治大学教育会大会への参加により、学生の教職に関する理解が深まっている。	(1) 進路状況調査票の回収を遺漏なく進めるとともに、蓄積したデータベースの活用可能性をさらに高めていく。

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

		<p>&lt;社会教育主事課程&gt;                  課程室に職員の公募情報を掲示し、また希望する学生には、本学に事務局を置く社養協(社会教育職員養成研究連絡協議会)のブログに掲載される公募情報の活用を促している。学生の社会教育職への就業後も、大学と連絡が取れるよう教員ができる限り配慮している。</p>					
		<p>&lt;学芸員養成課程&gt;                  実習室に、各都道府県市区町村の募集要項を掲示し、指導を行っている。卒業生で博物館や、教育委員会の文化財関係部署に就職した者には、大学と連絡が取れるように教員が出来るだけ配慮している。</p>					
		<p>&lt;司書課程・司書教諭課程&gt;                  月1回、司書職を目指す学生向けに、本学司書課程を修了した現役の司書を中心に勉強会を組織し、司書職採用試験の指導を展開している。また、司書課程・司書教諭課程室において、司書職の求人情報、司書職試験問題を収集し、司書職採用試験に関する情報を学生に提供している。卒業式当日に司書資格取得証明書を手渡す際、進路状況調査票に記入させ、データを蓄積している。調査票には、今後、司書への就職希望者に連絡先を記載させている。希望者へは司書の求人情報を随時、メールで配信している。</p>	司書を目指す学生・卒業生を対象にした勉強会の参加者から、司書職採用試験の合格者を輩出している。また、司書職を目指している卒業生への司書に関する就職情報の提供は、勉強会の取り組みとともに、学生のキャリア形成支援として機能している。		司書を目指す学生・卒業生を対象にした勉強会の参加者から、司書職採用試験の合格者を輩出している。また、司書職を目指している卒業生への司書に関する就職情報の提供は、勉強会の取り組みとともに、学生のキャリア形成支援として機能している。		

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 7 教育研究等環境

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明 C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	評価		発展計画		
		効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 当年度・次年度対応 F列にあれば記述 中長期的対応 F列にあれば記述	
<b>(1) 教育研究等環境の整備に関する方針を明確に定めているか</b>						
a ●学生の学修、教員の教育研究の環境整備に関わる方針を、当該大学の理念、目的を踏まえて、定めているか。	駿河台には、リパティタワー内に教育実習指導室、各課程室を設置し、嘱託職員とTAを配置している。各室には、各種の専門資料を備え、学習支援を進めている。 五課程は、駿河台キャンパスに課程室を設置し、受講生の学習の場を提供し、学習支援を行なうという方針を明確にし、受講生に伝達している。	教職課程は、駿河台キャンパスは、専用の模擬授業室を有し、学生の実践的な学習の場として積極的に活用されている。また、学習指導案データベース検索システムが学内外から利用できるになっている。これら、専用の模擬授業室及び生田・和泉・中野分室等でも検索専用端末を備えた学習指導案データベース検索システムは、教育実習を控えた学生の実践的な学習に資するものも	教職課程では、生田・和泉・中野キャンパスには模擬授業室がなく、学生の実践的な学習の面で不足がある。	教職課程では、模擬授業室および学習指導案データベース検索システムの具体的な活用法について、教育実習指導や教職実践演習等の授業のなかで重ねて説明・強調を行い、よりいっそうの積極的な利用へと働きかけを行う。	教職課程では、資格課程生田分室を学習会開催にも十分なスペースを持つよう拡張し、また、新規開校の中野キャンパスに、教育実習指導を行いうる施設的な条件を整える必要がある。	教職課程では、生田キャンパスに模擬授業室を設置する。また、理数について中・高等学校での実験・デモ用の機器類を備え、それらのマイクロ演示・開発が可能な場所を設置する。 中野キャンパスの教育実習指導室・模擬授業室の整備を行う。
		司書課程・司書教諭課は、図書館情報学関係の専門資料を所蔵し、受講生の自主的学習環境を提供している。また、課程室は、専門資料を利用した授業を進める場としても活用されている。	司書課程・司書教諭課では、大部なツール類の使用が必要となる情報資源組織化に関わる演習科目については、授業時に保管している部屋からツール類の運搬が必要となり、授業運営上の負担が大きくなっている。ツール類が常備された演習教室の設置が喫緊の課題となっている。	司書課程・司書教諭課は、課程室で所蔵する専門資料等を有効活用して、司書職採用を希望する学生らの関心を喚起し、彼らの情報交換・交流の場となるよう環境を整える。		司書課程・司書教諭課では、大部なツール類を使用した情報資源組織化に関わる演習科目のための専用教室の設置検討を働きかけていく。

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

## 基準 10 内部質保証

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明	評価		発展計画		
	C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	効果が上がっている点・理由 D列の現状から記述	改善を要する点・理由 D列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 E列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画	
(1) 大学の諸活動について点検・評価を行い、結果を公表することで社会に対する説明責任を果たしているか						
a ◎自己点検・評価を定期的実施し、公表していること 【約400字】	資格課程では、各課程室会議が主体となって当該課程の教育研究活動を点検・評価し、改善すべき点を明らかにし、改善方策を策定することとしている。2016年度自己点検・評価結果（2015年度報告書）は、6月20日開催の五課程会議で討議し、承認を得た後に、7月11日開催の資格課程委員会にて評価し、評価結果を決定した。 2016年度自己点検・評価結果（2015年度報告書）はホームページで公表している。	【教職課程】 およそ1月に1度、研究室会議を開催し、諸活動についての点検を行った。		【教職課程】 引き続き研究室会議にて定期的な点検・評価を行う。		
(2) 内部質保証に関するシステムを整備しているか						
a ●内部質保証の方針と手続を明確にしていること。 ●内部質保証をつかさどる諸組織（評価結果を改善）を整備していること ●自己点検・評価の結果が改革・改善につながっていること ●学外者の意見を取り入れていること ●文部科学省や認証評価機関からの指摘事項に対応していること 【800字～1000字程度】	自己点検・評価の結果は、五課程会議、資格課程委員会が中心となって、次年度の年度計画書の作成にあたり、課題を解決できるよう計画に盛り込んでいる。					
(3) 内部質保証システムを適切に機能させているか						
a ●PDCAサイクルを回すための、Check（点検・評価）およびAction（改善）の具体的内容・工夫 <参考：以下の事項に関して、関連するものについて記述する> ①組織・個人レベルでの自己点検・評価活動の充実 ②教育研究活動のデータベース化の推進 ③学外者の意見の反映 など	特になし					

# 2016年度 資格課程委員会 自己点検・評価報告書

2016年度五課程の専任教員，兼任教員，兼任教員数

	専任	兼担	兼任	計
教職課程	9 <sup>※</sup>	7	60	77
社会教育主事課程	2	0	7	9
学芸員養成課程	2	0	6	8
司書課程・司書教諭課程	3	0	15	18

※：特任教授1名含む